

体験活動参加型＋講演会型（小学校）

学校名	揖斐川町立大和小学校
実施日時	平成30年8月4日(土)…夏季休業中の土曜日
会場	大和小学校 体育館
参加人数	親子で参加：12組(29人)の親子
学習課題(分野)	「親子で木育教室」(家族の交流)
運営者の願い	<p>年4回の体験型家庭教育学級を公民館と共催の形で行っています。この内3回(今年度は「ソーセージ作り教室」「親子ヨガ教室」「ハーバリウム体験教室」)は、母親委員会が中心となり、夏休みに行う「親子木育教室」は、公民館が中心となって企画・運営します。</p> <p>「親子で木育教室」では、親子で「森の話」を聞いたり、県の木材を使って家庭で使えるものを作ったりを通して、森や森林資源に対する意識を高め、「森を愛し、大切にする心」を育みます。</p>

学 習 の 内 容

<活動内容>

1 ミニ講演会「森のお話」

講師 小寺春樹 先生
(岐阜県里山インストラクター)

- ・里山にある森の役割
- ・森を守り育てる活動
身近にある自然の大切さを教えていただきました。



2 親子で、「県内産の杉の木を使って木製の箱を作る」

内容 あらかじめ切断されている木材にくぎを打って、箱を形成していく。

材料 県内産の杉板(スプーンの形に加工済み)

- ・公民館が依頼した木工指導講師が、板材を加工

道具 かなづち・飾り付けたいもの(ボタン・リボンなど)

参加費 50円(1セット)

参加者 親子で12組(29人の親子)

3 閉会：完成した箱を手に、参加者全員で写真撮影

<アンケートより>

○子どもの感想

- ・くぎを打つときに、手をたたいてしまいそうだったけど、うまくできた。
- ・箱の中にたくさん物を入れて、宝箱にしたい。

○保護者の感想

- ・くぎ打ちは、子どもには難しいと思っていたけれど、上手に打つことができ、びっくりした。
- ・自然の大切さを学べたので、来年も参加したい。



ポイント

◎公民館と共催するとい いこといっぱい

- ・公民館は地域とのつながりが深く、地域の人材確保の幅が広がった。
- ・専門技術をもった方が木材を加工し、親子で作りやすいように事前準備をしてくださるので、活動がスムーズに行うことができた。
- ・会場が公民館となり、土日でも、調理室、多目的室などの施設が使えるので、家庭教育学級の休日開催が容易になる。土日開催の方が、保護者が仕事を気にすることなく参加できることもあり、希望者もたくさん集まる。

ポイント

◎親(父親)の輝く場

木材の加工ということで、例年、父親の参加がとて多くある。両親で参加する家庭や祖父が参加する家庭もあり、父親と触れ合う大切な時間となっている。

また、今年は「箱作り」ということで、例年以上に父親のはりきる姿が多くみられた。

ポイント

◎会員同士のつながりを 生む設定

会場の準備から片付けまで、多くの親子に協力してもらい、スムーズに運営できた。作業中はもちろんだが、準備や片付けの中での会話も弾み、会員同士のつながりも生まれた。